

嘉手納飛行場における横田基地所属C-130Jの予防着陸について（要請）

平成30年2月28日、北関東防衛局から「11時30分頃、エンジンの不具合を認めたため、その後、嘉手納基地に予防着陸を行った。当該機の乗組員ならびに着陸先の人員に対する危険はなかった。どのような不具合が生じたかを特定するために地上試験を行っている。」との情報を得ました。

このような飛行中の機体のトラブルについては、人命に関わる重大な事故につながりかねません。当市上空においては、横田基地所属C-130Jが頻繁に低空飛行を行っており、このような事案が生じることは、多くの住民に不安を与えるものです。

については、事故の発生に対して厳重に抗議するとともに、貴職におかれましては、このような状況を十分に認識され、下記のとおり対応するよう要請します。

記

- 1 事故の経緯を明らかにするとともに、原因究明を行い再発防止を図ること。
- 2 航空機の点検整備を強化し、安全確保の徹底を図ること。
- 3 以上に関する情報を当市に速やかに提供すること。

平成30年3月2日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官

ケネス E. モス大佐 殿

あきる野市長 澤井敏和

